

第7回七尾市総合計画審議会

日時：平成20年9月30日（火）

13：30～15：30

場所：フォーラム七尾 4階 中ホール

— 次 第 —

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 協議事項
 - 協議第1号 序論 第2章 第1節 七尾市の概況・・・1
 - 協議第2号 序論 第2章 第4節 七尾市のまちづくりの課題・・・2
 - 協議第3号 基本構想 第1章 目指す将来像・・・3
 - 協議第4号 基本構想 第2章 まちづくりの基本方針・・・4
 - 協議第5号 基本構想 第4章 土地利用構想
基本計画 第2章 土地利用方針・・・5～8
 - 協議第8号 基本計画 第3章 重点プロジェクト・・・9～10
 - 協議第9号 審議会答申（案）・・・11～12
- 4 報告事項
 - 報告第10号 分野別計画書目標値について・・・13～18
 - 報告第11号 答申の日程
- 5 閉会

第一次七尾市総合計画 目次

序論

第1章 総合計画の策定にあたって

第1節 総合計画策定の趣旨

第2節 総合計画の構成・計画期間

第2章 七尾市を取り巻く動向

<p>第1節 七尾市の概況</p> <ol style="list-style-type: none">1 位置・地勢2 面積3 気候4 沿革5 人口・世帯数6 産業構造7 七尾市の財政状況8 特性 <p>第2節 社会動向</p> <ol style="list-style-type: none">1 人口減少・少子高齢化の進行2 産業構造の変化3 地球温暖化の進行4 国の財政状況の悪化5 地方分権の推進	<p>協議第1号 (継続協議)</p>
<p>第3節 まちづくりに関する市民意識</p> <p>◇七尾市まちづくりに関する市民アンケート</p> <p>◇七尾市まちづくり市民意識調査</p>	
<p>第4節 七尾市のまちづくりの課題</p> <ol style="list-style-type: none">1 協働のまちづくり・健全な行政経営の推進に向けて2 産業の活力創出に向けて3 教育環境の充実に向けて4 芸術・文化の振興に向けて5 自然環境の保全に向けて6 福祉・保健・医療の充実に向けて7 生活環境・都市基盤の充実に向けて	<p>協議第2号 (継続協議)</p>

第一次七尾市総合計画 目次

基本構想

第1章 目指す将来像	協議第3号 (継続協議)
第2章 まちづくりの基本方針 1 市民が主役のまち 2 活気あふれる元気なまち 3 文化の薫る美しいまち 4 安全で住みよいまち	協議第4号 (継続協議)
第3章 将来人口 1 人口の推移 2 人口の年齢構成 3 将来人口の推移 4 将来人口(目標人口)	協議第6号 (協議済)
第4章 土地利用構想	協議第5号 (継続協議)

基本計画

第1章 基本計画について

第2章 土地利用方針	協議第5号 (継続協議)
第3章 重点プロジェクト	協議第8号
第4章 分野別計画	協議済

資料編

総合計画策定の経過

施策目標値一覧

市民アンケート

用語集

7 市の財政状況

市の借金は年々増加しており、平成19年度末には約539億円となり、市民一人当たりの借金は約89万円となっています。また、公債費^{※1}も年々増加しており、平成19年度末には歳出に占める公債費の割合が16.9%となり、市の財政を非常に圧迫しています。

高齢者人口の増加に伴い、社会保障に関する経費が増大していく中で、今後ますます厳しい財政運営が続くことが予想されています。

※1 公債費：市の借金である地方債の元利償還金及び一時借入金利子の合算額。

地方債残高（普通会計決算）

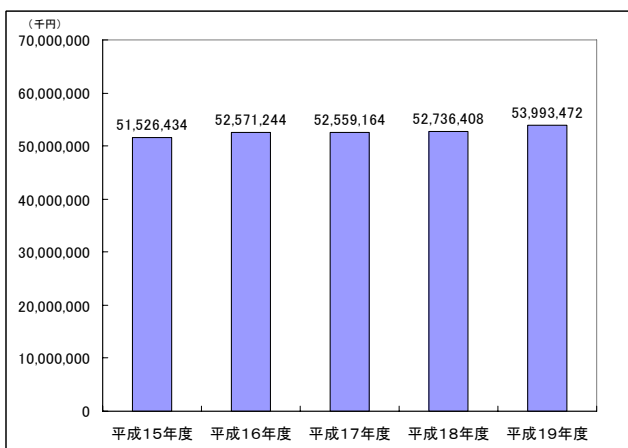
（単位：千円）

	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年
総額	51,526,434	52,571,244	52,559,164	52,736,408	53,993,472

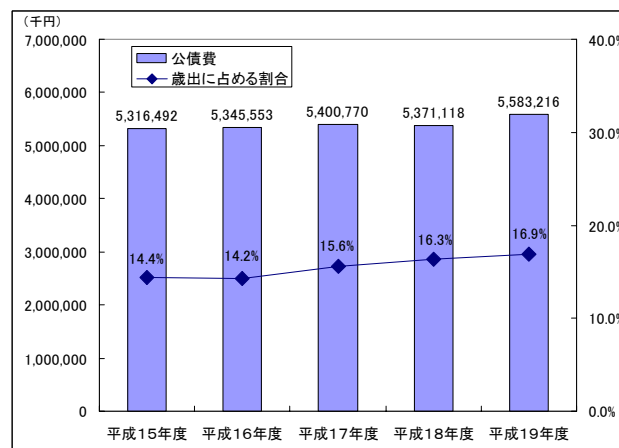
公債費（地方財政状況調査）

	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年
総額（千円）	5,316,492	5,345,553	5,400,770	5,371,118	5,583,216
歳出に占める割合	14.4%	14.2%	15.6%	16.3%	16.9%

地方債残高の推移



公債費の推移



第4節 七尾市のまちづくりの課題

1 協働のまちづくり・効率的な行政経営の推進に向けて

人口減少・少子高齢化や住民同士の連帯感の希薄化等により、地域活動の衰退が懸念されています。また、多様化・複雑化する市民ニーズに、行政だけではきめ細かな対応ができない状況となっています。これらの課題を克服するためには、市民・事業者・行政がそれぞれの役割を果たしながら、相互に連携・協力する「協働のまちづくり」を進めるとともに、地域コミュニティや市民団体等の活動の活性化やその活動を支える人づくりがますます重要となります。

一方、国の財政状況の悪化や地域経済の低迷などを受け、地方交付税や税収が減少し、七尾市の財政状況はますます厳しいものとなっています。また、地方分権の進展により、自治体の担う役割は重要性を増しており、地域の実情に応じた行政経営が求められています。このため、広報・広聴活動を充実し、行政の透明性を高めるとともに、行政サービスの向上や行財政改革の推進を図るなど、効率的で質の高い行政経営を推進する必要があります。

2 産業の活力創出に向けて

七尾市には、由緒ある和倉温泉をはじめ、世界に誇れる素晴らしい観光資源がたくさんありますが、七尾市に訪れる観光客の数は年々減少しています。また、商工業や伝統産業、農林水産業では、担い手や後継者不足、ニーズの多様化に対する対応不足などにより、活力が低下している状況です。港町で栄えた中心市街地では、特に人口減少が激しく、空き店舗も目立ち、空洞化に歯止めがかかりません。

このような中、能越自動車道七尾東ICの供用開始や北陸新幹線金沢開業は、交流人口の拡大や企業誘致による雇用創出など、地域経済の活性化の起爆剤として大きな期待が寄せられています。

七尾市の産業を活性化するためには、この機会を逃さず、企業と行政が一体となって、様々な施策を展開していく必要があります。特に観光は七尾市の最も重要な産業であり、和倉温泉を中心に魅力ある地域資源との連携や広域的な取り組みを強化し、多様化する観光ニーズに対応した観光振興を図る必要があります。

また、農林水産業においては、担い手の育成を図るとともに、個性豊かな農産物や水産物のブランド化、地産地消を推進し、その価値を高めていかなければなりません。

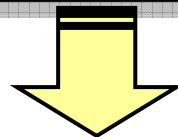
さらに、能越自動車道との連携により、海の玄関口である七尾港の振興を図るとともに、中心市街地の活性化を図り、まちの賑わいを創出していく必要があります。

写 真

第1章 目指す将来像

七尾湾と温泉を活かした 能登から世界への架け橋

人が輝く 交流体感都市



「人が輝く 交流体感都市」

七尾市の未来を担い、様々な分野で輝き、活躍する人づくりを目指すとともに、豊かな自然や地域に根付いた歴史・伝統文化、魅力ある観光資源、高い技術力を誇る伝統産業などの豊富な地域資源を活かすことで、日本や世界中の人々を引き寄せ、来訪者と市民がその魅力を体験・感動し、交流する「交流体感都市」の実現を図り、「世界に誇れる人と地域」を目指します。

人が輝く 交流体感都市

市民が主役の
まち

自分のまちは自分でつくる、市民がまちづくりの主役のまち

活気あふれる
元気なまち

地域に根ざした産業が活気あふれて、市民が元気なまち

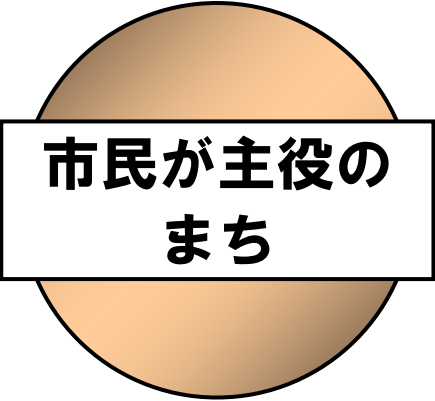
文化の薫る
美しいまち

七尾市の歴史・伝統文化が薫り、自然や景観が美しいまち

安全で
住みよいまち

安全で安心して生活することができる、誰もが住みよいまち

第2章 まちづくりの基本方針



市民が主役の まち

【協働・行政経営】

市民・事業者・行政による協働のまちづくりを進めるとともに、市民が積極的にまちづくりに参加する、市民が主役のまちを目指します。また、広報・広聴活動を充実するなど、開かれた行政経営に努めるとともに、行政サービスの向上や行財政改革の推進を図り、健全で持続可能なまちを目指します。

協働・行政経営

1 協働・市民参画の推進

2 効率的な行政経営の推進

写真

写真

写真

写真

写真

写真

第4章 土地利用構想

七尾市は、美しい海岸と雄大な森林、豊かな田園地帯を有し、自然あふれる能登島が波穏やかな七尾湾に囲まれています。また、個性豊かな魅力ある市街地が各地域で形成され、その市街地の周辺には住宅地が広がっています。

このような中、豊かな市民生活と快適な都市空間の創出を図るため、各地域が持つ特性を生かしながら、総合的かつ適正な土地利用を推進します。

また、人口減少や少子高齢化に対応した都市の形成と自然環境や歴史遺産の保護の観点から、計画的かつ有効な土地利用を図ります。

第2章 土地利用方針

1 現状と課題

土地は、限られた貴重な資源であるとともに、市民生活や経済活動等のあらゆる活動の共通基盤であり、地域の発展を図るためには、土地を高度かつ有効に利用していくことが必要です。

現在、市域面積317.96km²のうち、49.29km²(15.5%)が都市計画区域に指定されています。都市計画区域のうち、用途区域が8.57km²で17.4%となっています。用途区域のうち住居系が49.8%、商業系が16.0%、工業系が34.2%となっています。

このような中、民間事業者等による無秩序な開発を抑制するとともに、能越自動車道等の道路整備による交流人口の拡大や企業誘致による雇用創出など、地域産業の振興を視野に入れた計画的な土地利用が求められています。

2 基本的な考え方

海岸や森林等の自然環境の保全と活用、良好な農地の保全や美しい田園風景の創出、魅力ある市街地や居住環境の形成を基本に、市内全域を「海岸ゾーン」、「港湾ゾーン」、「森林ゾーン」、「田園ゾーン」、「市街地ゾーン」、「居住ゾーン」の6つのゾーンに区分し、七尾市固有の歴史的・文化的景観に配慮しながら、自然環境と調和のとれた総合的かつ適正な土地利用を推進します。

また、道路等の社会資本整備により、周辺地域の土地利用形態に変化が生じる場合は、地域の実情に合った計画的な土地利用を図ります。

3 ゾーン別の土地利用方針

(1) 海岸ゾーン

能登半島国定公園の区域である七尾湾や能登島、灘浦の海岸域と、海岸線に沿って形成された集落を「海岸ゾーン」として位置づけ、海洋環境の保全を基本に、漁業や海洋レクリエーションの振興、集落の生活環境の向上を図ります。

(2) 港湾ゾーン

LPG国家備蓄七尾基地や七尾大田火力発電所をはじめ、大田、矢田新、津向地区などの産業・物流・エネルギー地域を「港湾ゾーン」として位置づけ、港湾機能の整備を基本に、物流機能の強化など、港を活かした産業の振興を図ります。

(3) 森林ゾーン

城山や別所岳、虫ヶ峰などの山岳や丘陵地に広がる森林地域と、山間地に形成された集落を「森林ゾーン」として位置づけ、貴重な森林環境の保全を基本に、市民や来訪者の交流の場として活用するとともに、集落の生活環境の向上を図ります。

(4) 田園ゾーン

市街地の周辺に広がる田園地域の集落と農地を「田園ゾーン」として位置づけ、良好な農地の保全を基本に、農業の振興や集落の生活環境の向上を図るとともに、美し

い田園風景を創出します。

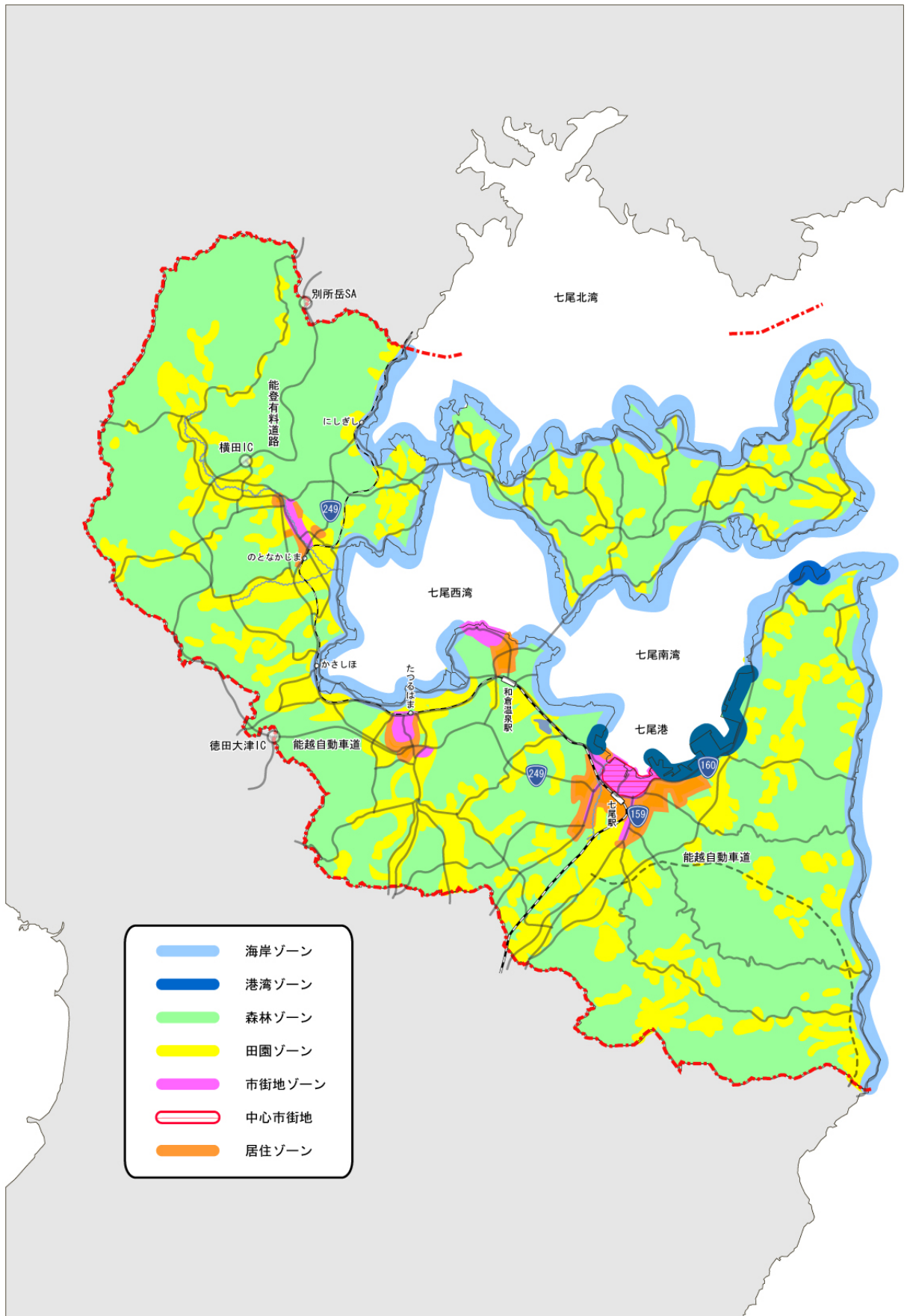
(5) 市街地ゾーン

住宅と商店が密集した地域と、幹線道路沿いの商業施設を中心とした地域を「市街地ゾーン」と位置づけ、各地域の特色ある市街地の形成を基本に、賑わいの創出や生活環境の向上を図ります。

特に、七尾港からJR七尾駅にわたり、古くから経済の中心として発展してきた地域を「中心市街地ゾーン」として位置づけ、個性や特色を活かした魅力ある商業空間の形成を基本に、七尾港の整備や観光の振興、生活環境の向上を図るとともに、都市景観の保全に努めます。

(6) 居住ゾーン

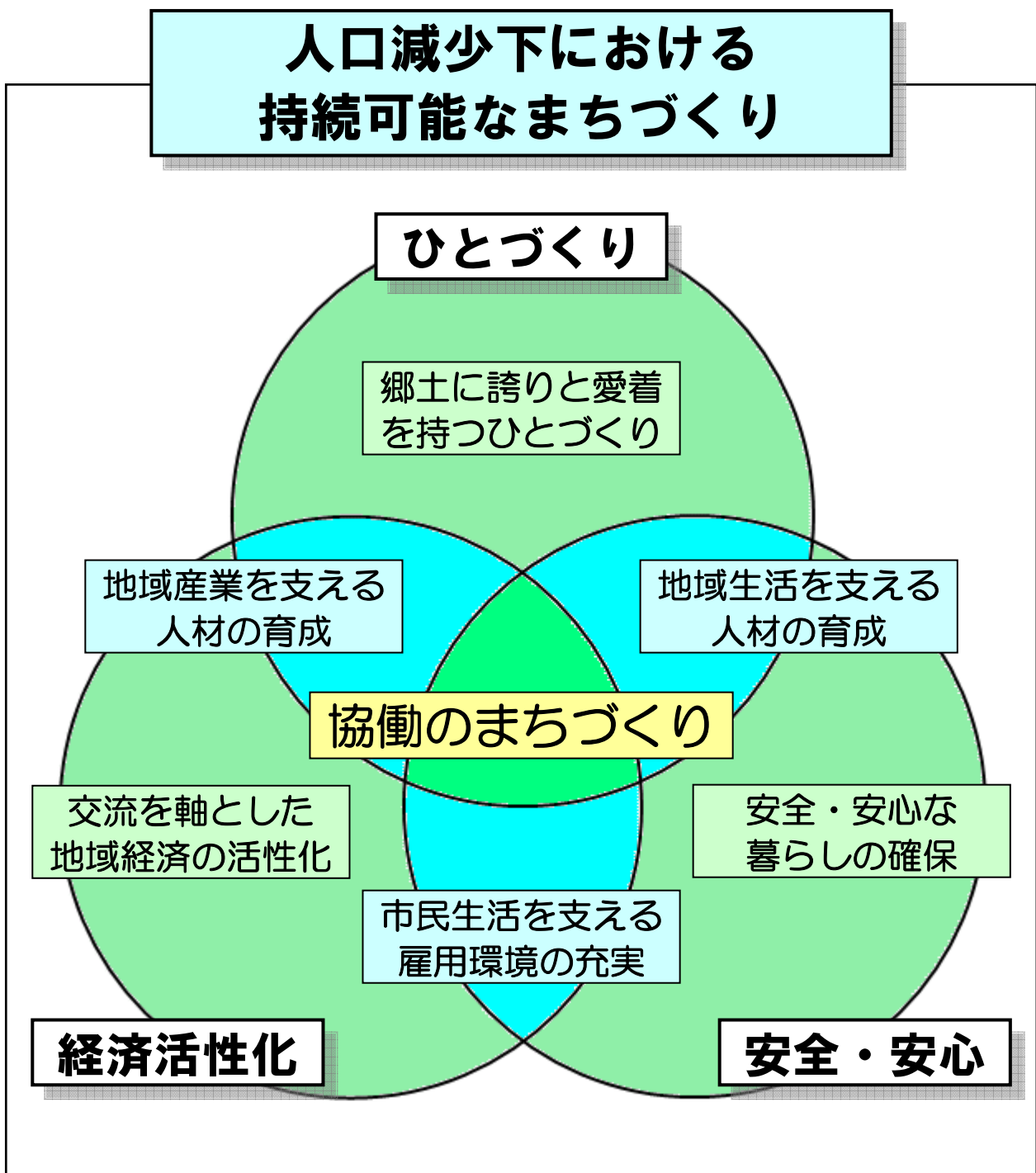
市街地周辺の住宅地や区画整理等により整備された住宅団地を「居住ゾーン」と位置づけ、魅力ある居住環境の形成を図ります。



第3章 重点プロジェクト

人口減少・少子高齢化が進行し、地域経済が低迷する中、七尾市の将来像である「人が輝く 交流体感都市」を実現するためには、限られた資源（人・財源等）を有効に活用し、重点的かつ戦略的に各施策に取り組む必要があります。

このことを踏まえ、「人口減少下における持続可能なまちづくり」を第1次七尾市総合計画基本計画（前期5年間）の目標に掲げ、「ひとづくり」、「経済活性化」、「安全・安心」の3つのキーワードを基に、7つの重点プロジェクトを立ち上げ、重点的に各施策を展開していきます。



協働のまちづくりプロジェクト

【重点施策】

- ・ 市民、行政の協働意識の醸成
- ・ 地域づくり協議会の活動強化
- ・ 協働の仕組みづくり

郷土に誇りと愛着を持つひとづくりプロジェクト

【重点施策】

- ・ 地域資源を活かした子どもの教育
- ・ ふるさと七尾の歴史・文化学習の推進
- ・ 子どもの教育環境の充実
- ・ 伝統的祭り行事の後継者育成

交流を軸とした地域経済活性化プロジェクト

【重点施策】

- ・ 魅力あふれる観光地の形成
- ・ 港を活かした交流の促進
- ・ 広域観光の促進
- ・ まちなか観光の促進
- ・ 体験、滞在型交流の促進
- ・ 歴史、文化交流の促進

安全・安心なまちづくりプロジェクト

【重点施策】

- ・ 出産、子育てしやすい環境づくり
- ・ 防災体制の強化
- ・ 地域医療体制の充実
- ・ 災害未然防止対策の充実
- ・ 介護予防の推進
- ・ コミュニティバス等の充実

地域産業を支える人材育成プロジェクト

【重点施策】

- ・ 観光を支える人材の育成
- ・ 農林水産業の担い手の育成
- ・ 伝統産業の後継者育成
- ・ 企業が求める人材育成と起業家の育成

地域生活を支える人材育成プロジェクト

【重点施策】

- ・ 地域福祉を担う人材の育成
- ・ 市民活動を担うリーダーの育成
- ・ 高齢者が活躍できる機会の創出
- ・ 自主防災組織、自主防犯組織の育成
- ・ 高齢者等の介護を支える人材の育成

市民生活を支える雇用創出プロジェクト

【重点施策】

- ・ 企業誘致の推進
- ・ 若者と子育て世帯の就業環境の充実
- ・ 既存産業の活性化による雇用拡大

案

協議第9号

第7回総合計画審議会

平成20年9月30日

七尾市長 武元 文平 様

七尾市総合計画審議会

会長 前山 正一

第1次七尾市総合計画（基本構想・基本計画）について（答申）

平成19年11月6日付発企経第54号により、本審議会に諮問されました標記について慎重に審議した結果、おおむね妥当であるとの結論を得ましたので、その旨答申いたします。

なお、第1次七尾市総合計画の策定につきましては、本審議会の議論経過や次の意見を踏まえ、その趣旨が十分生かされるよう要望いたします。

記

1. 将来像の実現に向けて

市町合併後初めての総合計画として、将来像の「人が輝く 交流体感都市」の実現に向けて、重点的かつ戦略的な施策展開により、人口減少・少子高齢化時代における持続可能なまちづくりに努められたい。

2. 協働のまちづくりの推進に向けて

市民・事業者・行政がそれぞれの役割に責任を持ち、連携・協力しながら活動する、協働のまちづくりを進めるにあたり、相互の信頼と協力の下、協働の仕組みづくりや市民・職員の意識改革等を図られたい。

3. 地域経済の活性化に向けて

和倉温泉や七尾湾、能登島など多彩な地域資源を活用した交流を促進することで、地域の経済活動を活発化させるとともに、既存産業の活性化や雇用の拡大、新たなビジネスの創出が可能になるよう努め、特に若い世代の地元回帰を推進されたい。

4. 次代を担うひとづくりの推進に向けて

家庭・地域・学校が一体となった子ども教育の充実を図るとともに、郷土に誇りと愛着が持てる子どもたちを育てる環境づくりに努められたい。

5. 七尾固有の歴史・文化の振興に向けて

歴史・文化遺産の保全と伝統的祭り行事の継承に努めるとともに、地域に根ざした七尾固有の文化資源を教育や観光などに活用するなど、歴史や文化を活かしたま

ちづくりを推進されたい。

6. 豊かな自然環境の保全に向けて

七尾固有の自然環境や美しい景観を保全するとともに、温室効果ガスの削減、循環型社会の形成を図り、地球環境にやさしいまちづくりを推進されたい。

7. 安心した地域生活の確保に向けて

安心して子どもを産み育てられる環境の充実を図るとともに、子育て家庭や高齢者、障害者が住み慣れた地域で安心して暮らせる環境づくりに努められたい。また、健康づくりや医療体制の充実も図り、少子高齢化社会に対応したまちづくりを推進されたい。

8. 安全・快適な暮らしの確保に向けて

能登半島地震の経験を生かし、自主防災組織の育成など、地域の防災力の強化と防災意識の高揚、災害に備えた体制の強化に努められたい。また、ごみ対策や道路整備など、市民が暮らしやすいまちづくりを推進されたい。

以上

分野別計画書 目標値(案)

大項目	中項目	小項目	目標値							
			指標	指標の説明	指標の算出根拠・算出式	H30目標値の考え方	現状	H25	H30	
① 協働・行政経営	1 市民協働・市民参画の推進	(1) 協働のまちづくりの推進	地域活動に参加している市民の割合	市民が地域活動に参加していることを示す指標	七尾市まちづくり市民意識調査	現状値の8.7ポイント増を目標値とする。	H20	51.3%	55.0%	60.0%
		(2) 広報・広聴活動の充実	市政に関する情報を適切に提供していると思う市民の割合	市広報やHPなどで市の情報が適切に公開されていることを表す指標	七尾市まちづくり市民意識調査	現状値の18ポイント増を目標値とする。(全体の2/3程度)	H20	47.0%	56.0%	65.0%
	2 効率的で質の高い行政経営の推進	(1) 行政サービスの向上	市役所職員の対応に関する満足度	市民が市役所職員の窓口や電話での対応に満足していることを示す指標	七尾市まちづくり市民意識調査	現状値の19ポイント増を目標値とする。	H20	56.0%	65.0%	75.0%
		(2) 効率的で健全な行政経営	経常収支比率	財政構造の弾力性を示す指標			H19	98.8%	97.0%	92.0%
			実質公債費比率	公債費の財政負担の程度を示す指標			H19	20.1%	19.0%	17.0%

大項目	中項目	小項目	目標値								
			指標	指標の説明	指標の算出根拠・算出式	H30目標値の考え方	現状	H25	H30		
② 産業	1 観光の振興	(1) 魅力あふれる観光地の形成	七尾市への入り込み客数	七尾市全体の観光振興がどれくらい図られたかを示す指標	主要観光地、観光施設、イベント、宿泊施設の入り込みから推計したもの	観光客のニーズに対応する施策展開を図り、現状値の概ね20%増を目標値とする。	H19	3,607,181人	3,895,000人	4,300,000人	
			和倉温泉への入り込み客数	和倉温泉の観光振興がどれくらい図られたかを示す指標	和倉温泉へ訪れる観光客の人数	現状値の概ね45%増を目標値とする。	H19	831,724人	1,091,000人	1,200,000人	
		(2) 広域観光の促進	3大都市圏からの入り込み客数(和倉温泉)	3大都市圏からの誘客が図られたことを示す指標	宿泊施設の入り込みから推計したもの	現状値の概ね26%増を目標値とする。	H19	374,692人	425,000人	472,000人	
			外国人宿泊者数	海外からの観光客数を示す指標	市内宿泊施設での宿泊延べ人数	現状値の概ね260%増を目標値とする。	H19	18,940人	40,000人	50,000人	
		(3) 体験・滞在型交流の促進	体験・滞在型交流人口	体験・滞在型の交流人口を示す指標	修学旅行、大学等合宿などの受け入れ人数の合算	現状値の概ね3倍増を目標値とする。	H19	2,202人泊	4,800人泊	7,100人泊	
		2 商工業の振興	(1) 地域性を活かした商工業の振興	製造品出荷額等	工業の活性化の度合いを示す指標	年間製造品出荷額等	現状値の概ね8%増を目標値とする。	H18	693億円	721億円	749億円
	商品販売額(卸売業・小売業計)			商業の活性化の度合いを示す指標	年間商品販売額	現状値の概ね50%増を目標値とする。	H19	1,704億円	2,130億円	2,556億円	
	(2) 雇用機会の創出と人材育成		企業立地件数	企業誘致がどれくらい進んでいるかを示す指標	年間企業立地件数	1年に1件の企業立地を目標とする。	H19	0件	5件	10件	
			有効求人倍率	雇用の機会が確保されているかを示す指標	有効求人数/有効求職者数 1年間の平均倍率(七尾公共職業安定所の業務月報労働市場の動きを参考)	現状値の概ね5%増を目標値とする。	H19	1.07	1.10	1.12	
	3 農林水産業の振興	(1) 個性豊かな農業の振興	認定農家数	効率的かつ安定した農業経営を目指す農業者の数を示す指標	「農業経営改善計画(5年後の経営目標)」を市町村に提出して認定を受けた農業者。(個人・法人・兼営農組織)	経営所得経営安定対策の加入要件が緩和されたことから、関係機関等の情報等を参考にし、現存経営体数の60%増を目標とする。	H19	101経営体	130経営体	160経営体	
			生産農業所得	農業所得の向上が図られたことを示す指標	10a当たりの生産農業所得(純生産) 石川県農林水産統計年報を参考に算出(H18~H19)	水稲単一経営から複合経営に移行することにより生産農業所得の向上を図り、現状値をベースに62%増を目標値とする。	H19	284千円	400千円	460千円	
		(2) 豊かな森林資源の活用	間伐材生産量	効率的な林業生産活動を示す指標	間伐材の年間生産量	現状値の概ね2倍増を目標値とする。	H19	1,213㎡	1,880㎡	2,390㎡	
		(3) 魅力ある水産業の創出	地元市場の鮮魚取扱高	地元市場における水産物の取扱高を示す指標 (取扱高が増えたと地元消費が増加したと判断)	地元市場の水産物取扱高(鮮魚・冷凍魚・加工品)	現状値から概ね毎年1%増を目標値とする。	H19	12,205t	12,500t	13,000t	
		4 港を核とした産業の振興	(1) 港湾の機能充実と利用促進	取扱貨物量	国内外輸送における七尾港の利用状況を示す指標	七尾港における年間国内外輸送貨物取扱量	東海北陸自動車道、能越自動車道の開通を促した新たな取扱貨物の増加、上層整備による取扱い貨物量の増加を見込み、現状値の概ね50%増を目標値とする。	H19	4,100千t	5,100千t	6,100千t
				(2) 中心市街地活性化の推進	中心市街地商店街商品販売額	まちなかにおける商業の活性化の度合いを示す指標	中心市街地の年間商品販売額	現状値の概ね10%増を目標値とする。	H16	7,012百万円	7,180百万円
	まちなかイベント入り込み客数		まちなかの賑わいを示す指標		港まつり、花嫁のれん、モンテレージャスフェスティバルの入り込み客数	現状値の概ね3倍増を目標値とする。	H19	104,600人	115,000人	125,000人	

大項目	中項目	小項目	目標値							
			指標	指標の説明	指標の算出根拠・算出式	H30目標値の考え方	現状	H25	H30	
③ 教育	1 子ども教育の充実	(3) 子どもの健全育成	学校の決まりを守っていないという小学生の割合	児童の規範意識を確認する指標	平成19年度、伸ばせ！七尾っ子プロジェクトが行ったアンケート調査	現状値の15ポイント減を目標値とする。	H19	25%	18.0%	10.0%
			将来の夢や目標がないという中学生の割合	子どもの目標意識を確認する指標	平成19年度、伸ばせ！七尾っ子プロジェクトが行ったアンケート調査	現状値の22ポイント減を目標値とする。	H19	32%	21.0%	10.0%
		(1) 教育環境の充実	中学校における不登校生徒の割合	学校生活に不満や問題を抱えている生徒に関する指標 (1年度内において30日以上学校を休んだ生徒の割合)	中能登教育事務所管内調査(不登校児童生徒実数/学校基本調査における全児童生徒数)	現状値の2.22ポイント減を目標値とする。	H18	3.22%	2.00%	1.0%
			(2) 学校教育体制の強化	市平均の学力が県平均を上回る教科数	学力調査等の結果分析をもとに確かな学力の向上が図られたことを示す指標	全国学力・学習状況調査 石川県基礎学力調査 (小6及び中3)	全ての教科において石川県平均を上回ることを目標値とする。	H19	4教科 (13教科中)	半数以上
		授業に対する児童生徒の理解度		教職員の質の向上を示す指標 (児童生徒による授業評価アンケートのうちA(肯定評価)の割合)	全市統一様式で行うアンケート調査(授業評価) (A評価/全体(ABCD))	教師力の改善により現状地の33.5ポイント増を目標値とする。	H19	36.5%	50.0%	70.0%
		小中学校に対する保護者の満足度		保護者の評価を示す指標 (保護者による学校評価のアンケートのうちA(肯定)評価の割合(学校運営の改善))	全市統一様式で行うアンケート調査(保護者評価) (A評価/全体(ABCD))	半数以上の保護者が学校に対して肯定的評価をすることを目標値とする。	H19	25.6%	40.0%	50.0%
	2 生涯学習・スポーツの振興	(1) 生涯学習の推進	市民一人当たり年間公民館利用回数	生涯学習施設の利用度を示す指標 (市民に生涯学習活動が浸透している状態を測る指標)	公民館の年間利用者数/人口	現状値の概ね20%増を目標値とする。	H19	3.8回	4.2回	4.5回
			市民一人当たり年間利用冊数	図書館の利用度を示す指標	図書館の年間貸出冊数/人口	現状値の30%増を目標値とする。	H19	6.2冊	7.0冊	8.0冊
		(2) 生涯スポーツの振興	成人の週1回以上のスポーツ実施率	スポーツを実践している市民の割合を測る指標	七尾市まちづくり市民意識調査	現状値の26.9ポイント増を目標値とする。(国のスポーツ振興基本計画を参照)	H20	23.1%	40.0%	50.0%
	(3) 国際交流の促進	姉妹・友好都市との国際交流人口	国際交流の促進が図られたことを示す指標	4ヶ国5都市との相互交流人数	現状値の概ね14%増を目標値とする。	H19	149人	160人	170人	
	3 人権尊重・男女共同参画の推進	(1) 人権尊重のまちづくりの推進	人権尊重の社会づくりが進んでいると思う市民の割合	人権に関する市民意識を表す指標	七尾市まちづくり市民意識調査	現状値の4.6ポイント増を目標値とする。	H20	23.4%	26.0%	28.0%
		(2) 男女共同参画のまちづくりの推進	男女共同参画が進んでいると思う市民の割合	男女共同参画に関する市民意識を表す指標	七尾市まちづくり市民意識調査	現状値の5.2ポイント増を目標値とする。	H20	27.8%	31.0%	33.0%

大項目	中項目	小項目	目標値							
			指標	指標の説明	指標の算出根拠・算出式	H30目標値の考え方	現状	H25	H30	
④ 芸術・文化	1 歴史・伝統文化の振興	(1) 歴史・文化遺産の保全と活用	歴史・文化遺産が守られていると思う市民の割合	歴史・文化遺産が守られていることを示す指標	七尾市まちづくり市民意識調査	現状値の6.4ポイント増を目標値とする。	H20	53.6%	55.0%	60.0%
		(2) 伝統的祭り行事の振興	七尾4大祭り入り込み客数	伝統的祭り行事の振興がどれくらい図られたかを示す指標	青柏祭、石崎奉燈祭、能登島向田の火祭り、お熊甲祭りにおける入り込み客数	現状値の概ね10%増を目標値とする。	H19	176,500人	183,000人	193,000人
	2 芸術文化の振興	(1) 優れた芸術・文化体験の創出	七尾美術館観覧者数	七尾美術館の観覧状況を示す指標	年間観覧者数（入場者数）	現状値の概ね75%増を目標値とする。	H19	23,348人	36,000人	41,000人
			能登島ガラス美術館観覧者数	能登島ガラス美術館の観覧状況を示す指標	年間観覧者数（入場者数）	現状値の概ね40%増を目標値とする。	H19	43,078人	55,000人	60,000人
		(2) 地域に根ざした演劇文化の振興	能登演劇堂入場者数	能登演劇堂の観覧状況を示す指標	年間入場者数	現状値の概ね50%増を目標値とする。	H19	19,231人	24,000人	28,800人

5

⑤ 自然環境	1 自然環境・景観の保全	(1) 自然環境の保全と創出	七尾市の自然が守られていると思う市民の割合	市内の自然環境に対する市民意識の指標	七尾市まちづくり市民意識調査	現状値の18.7ポイント増を目標値とする。	H20	41.3%	50.0%	60.0%
		(2) 魅力ある景観の形成	七尾市の魅力ある景観が形成されていると思う市民の割合	市内の景観に対する市民意識の指標	七尾市まちづくり市民意識調査	現状値の12.3ポイント増を目標値とする。	H20	32.7%	40.0%	45.0%
	2 地球環境の保全	(1) 地球温暖化対策の推進	家庭において温暖化対策に取り組み削減したCO2の量	家庭におけるCO2の削減状況を示す指標	各家庭において、県民エコライフ大作戦の取り組みチェックシートにより削減したCO2の量	全世帯の半数が温暖化対策の取り組みを行なうことを目標値とする。	H19	10,606 kg	14,000 kg	20,000 kg
		(2) 循環型社会の形成	リサイクル率	排出ごみの内資源化及び資源回収量の指標（県発表）	（直接資源化＋施設処理の資源化＋資源回収量）／（全排出量＋集団回収量）	リサイクル率を上げ環境にやさしい都市にするため、現状地の6.8ポイント増を目標値とする。	H18	18.2%	20.2%	25.0%

4

大項目	中項目	小項目	目標値							
			指標	指標の説明	指標の算出根拠・算出式	H30目標値の考え方	現状	H25	H30	
⑥ 健康・福祉・医療	1 子育て・子育て環境の充実	(1) 子育て支援体制の充実	(子育て支援に関するアンケート) 【※個別アンケート】	子育て環境の満足度を示す指標	アンケート調査(対象:未就学児)					
		(2) 子ども親も共に育つ環境づくりの推進	地域子育て支援拠点施設利用人数	親子のふれあい度を示す指標	子育て支援センター、親子ふれあいランドの利用者数	現状値の概ね3%増を目標値とする。	H19	16,745回	17,000回	17,300回
		(3) 母子保健の充実	育児に不安を持っている親の割合	育児不安の解消に対する取組状況を示す指標	3か月健診時におけるアンケート調査	現状値の5.5ポイント減を目標値とする。	H19	11%	8%	5.5%
			朝食を食べていない幼児の割合	幼児の生活習慣が身に付いているかを示す指標	3歳児健診時におけるアンケート調査	全ての幼児が朝食を食べることを目標値とする。	H19	2%	1%	0%
	2 健康づくり・医療の充実	(1) 生涯を通じた健康づくりの推進	肥満の割合(BMI値)	生活習慣病の予防に対する取組状況を示す指標	健康診査時におけるBMI値	現状値の10ポイント減を目標値とする。	H19	32%	22%	12%
			ストレスを感じている人の割合	日常生活における心の健康度を示す指標	七尾市まちづくり市民意識調査	現状値の26.2ポイント減を目標値とする。	H20	76.2%	65.0%	50.0%
		(2) 医療体制の充実	医療体制が充実していると思う市民の割合	医療体制に対する満足度を示す指標	七尾市まちづくり市民意識調査	現状値の12.2ポイント増を目標値とする。	H20	49.8%	56.0%	62.0%
	3 高齢者福祉の充実	(1) 高齢者の自立と社会参加の促進	「いきがい」を感じて日常生活を送っている高齢者の割合	心身ともに健康な状態にある高齢者を示す指標	七尾市まちづくり市民意識調査(65歳以上)	現状値の6.6ポイント増を目標値とする。	H20	63.4%	65.0%	70.0%
		(2) 介護支援体制の充実	介護予防事業実施後の要介護・要支援認定率	高齢者の介護予防の取組状況を示す指標	要介護・要支援認定者数/65歳以上人口×100		H19	17.4%		
	4 障害者福祉の充実	(1) 障害者の自立と社会参加の促進	障害者雇用率	障害者の就労状況を示す指標	七尾公共職業安定所調べによる障害者の雇用率(毎年6月1日)	現状値の0.31%増を目標値とする。	H19	1.89%	2.00%	2.20%
		(2) 生活支援体制の充実	障害者が暮らしやすい環境が整っていると思う市民の割合	地域で生活したい障害者に対する支援サービスや支援体制の充実度を示す指標	七尾市まちづくり市民意識調査		H20	23.6%		
	5 地域福祉・生活保障の充実	(1) 地域福祉の充実	助け合い、支えあうという意識が地域にあると思う市民の割合	地域福祉に対する意識を表す指標	七尾市まちづくり市民意識調査		H20	44.0%		
		(2) 生活保障の充実								

大項目	中項目	小項目	目標値							
			指標	指標の説明	指標の算出根拠・算出式	H30目標値の考え方	現状	H25	H30	
⑦ 生活環境・都市基盤	1 防災対策の充実	(1) 防災体制の整備	自主防災組織数	地域における防災意識を表す指標	自主防災組織数	現状値の概ね3倍増を目標値とする。	H19	12団体	24団体	36団体
		(2) 災害未然防止対策の充実								
	2 住環境の充実	(1) 住宅・緑地の整備	良好な住環境が形成されていると思う市民の割合	住環境に対する満足度を示す指標	七尾市まちづくり市民意識調査	現状値の11.4ポイント増を目標値とする。	H20	38.6%	45.0%	50.0%
		(2) 防犯・交通安全対策の充実	自主防犯組織数	地域における防犯意識を表す指標	自主防犯組織数	公民館単位で自主防犯組織を置くことを目標値とする。	H19	20団体	25団体	30団体
			交通事故発生件数	交通安全に対する市民意識を表す指標	七尾市内における年間交通事故発生件数	現状値の40%減を目標値とする。	H19	259件	200件	150件
	3 生活環境の充実	(1) 環境衛生の推進	1人1日当たりのごみ排出量	ごみの排出抑制に対する取組状況を示す指標	全排出ごみ/365日/人口	現状値の %減を目標値とする。	H17	1,171g	1,026g	g
		(2) 安定した水の供給	有収率	水道の安定供給を示す指標	年間有収水量/年間配水量	現状値の5%増を目標値とする。	H19	88.5%	91.0%	93.5%
		(3) 下水道等の整備	御祓川の水質（BOD）	下水道の整備状況を示す指標	御祓川下流（仙対橋）におけるBOD値	鯉やふなが寝るBOD5mg/L以下を目標値とする。	H18	7.5mg/L	5.0mg/L	5.0mg/L以下
	4 交通体系の整備	(1) 道路網の整備	七尾市中心市街地～名古屋間の所要時間（道路）	能越自動車道及び七尾市内の道路の整備状況を示す指標	七尾市役所～名神高速道路小牧IC（能越自動車道・東海北陸自動車道経由）の所要時間	現状値の概ね50分短縮を目標とする。	H19	4時間10分	3時間20分	3時間20分
			安全・快適な道路整備が行われていると思う市民の割合	道路整備に対する満足度を示す指標	七尾市まちづくり市民意識調査	現状値の8.2ポイント増を目標値とする。	H20	36.8%	40.0%	45.0%
		(2) 鉄道・バスの充実	公共交通機関（鉄道・バス）が充実していると思う市民の割合	公共交通機関に対する満足度を示す指標	七尾市まちづくり市民意識調査	現状値の14.1ポイント増を目標値とする。	H20	35.9%	42.0%	50.0%